

# 工事説明書 給排気グリル

品番 VB-GMS50PC2 VB-GMS100PC2  
VB-GMR50PFC2 VB-GMR100PFC2

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



### 警告

分解禁止  
仕様変更・改造は絶対にしない  
火災・感電・けがの原因になります。



炎があたるおそれのある場所には取り付けない  
プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。



部品は確実に取り付ける  
落下により、けがをするおそれがあります。  
本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する  
落下により、けがをするおそれがあります。



本体は指定の方法で確実に取り付ける  
落下により、けがをするおそれがあります。  
施工の際は、皮手袋を着用する  
板金部品などの切り口や本体の突起、角などけがをすることがあります。

### お願い

■高温(40 °C以上)になる場所で使わないでください。  
グリルの変形や破損の原因になります。

■湿気や水のかかる場所で使わないでください。  
さびの原因になります。

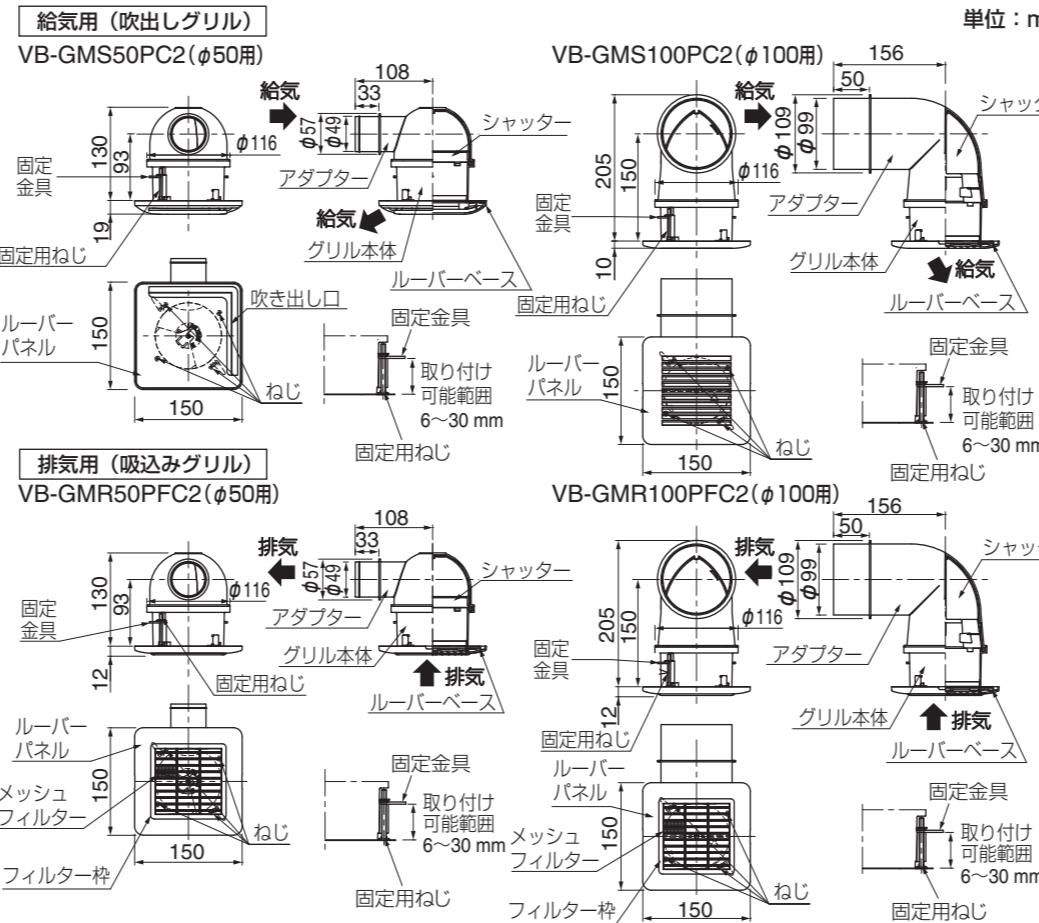
■台所など、油煙の発生する場所で使わないでください。  
グリルの変形や破損の原因になります。

■接続するチューブは1 m以上の長さのものにしてください。  
ただし、騒音の原因や吹き出し風量の不等分配となる場合、消音ダクトを使用したり、チューブの長さを長くするなどしてください。

■床面・壁面には取り付けないでください。  
プラスチック部品が破損するおそれがあります。  
また十分な換気性能が得られません。  
■グリルを他の機器の風が当たる場所に設けたり、吹出口近傍に障害物を設けないでください。  
十分な換気性能が得られません。  
■吹出口は壁に向けて設置しないでください。  
壁汚れの原因になります。  
■冷房用、空気浄化換気システムの吹出しグリルには使用しないでください。  
結露の原因になります。  
■断熱空間内に設置してください。  
結露の原因になります。  
■火災警報器の近くに本体を設置しないでください。  
(VB-GMS50PC2、VB-GMS100PC2のみ)  
本体と火災警報器の距離は1.5 m以上離してください。  
設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

## 各部の名前と寸法

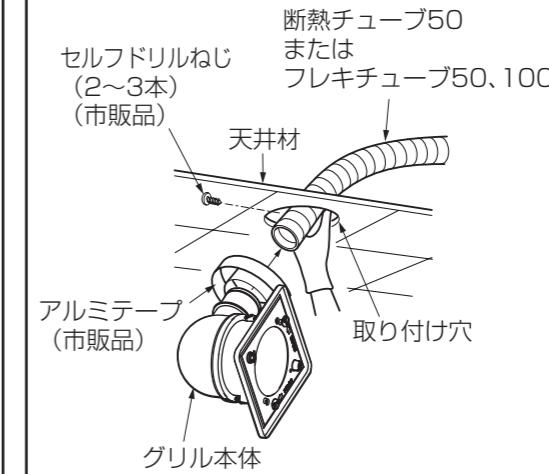
この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。



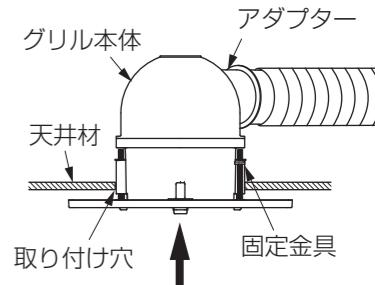
## 給排気グリルの取り付け

天井クロス仕上げをしたあと、グリル本体を取り付ける場合

①取り付け穴から断熱チューブ50またはフレキチューブ50、100を引き出し、グリル本体のアダプターに差し込み、セルフドリルねじで固定したあと、アルミテープで固定する。

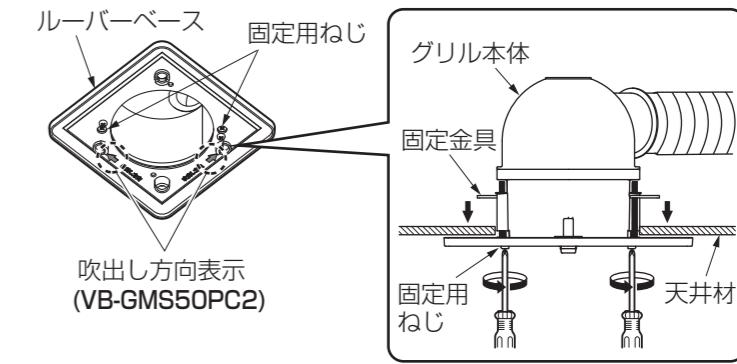


②固定金具を仮止めしているテープをはずし、取り付け穴に差し込む。  
■アダプター部分を持って徐々に押し込むと、差し込みやすくなります。



③グリル本体を正しい向きに合わせたあと、固定用ねじを締めてグリル本体を天井材に固定する。

■グリル本体が天井面との浮き・すき間のないように確実に入っているか確認してください。  
■ルーバーベースは吹出し方向を確認してください。(VB-GMS50PC2)



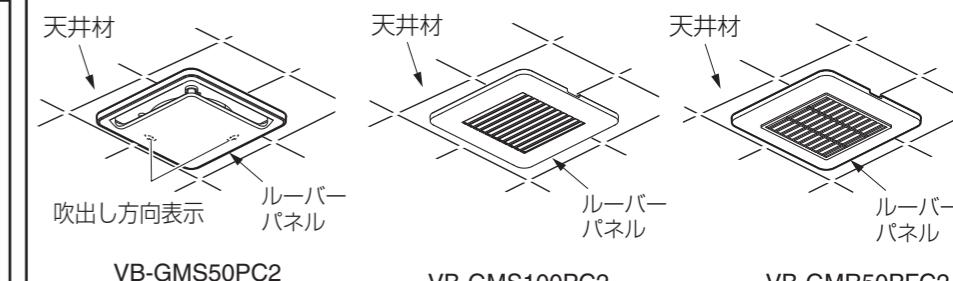
■電動ドライバーご使用時でも最後の締め付けは、手回しドライバーを使用してください。

天井材および製品の変形または破損の原因になります。

④ルーバーパネルを取り付ける。

■VB-GMS50PC2はルーバーパネルの吹出し方向を確認してください。

■VB-GMS100PC2はルーバーパネルを90度回転させることにより、4方向に風向調節が可能です。

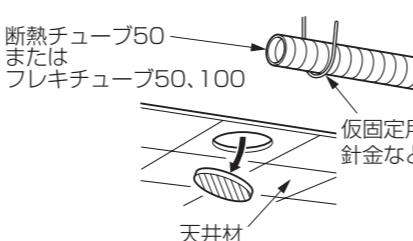


## 取り付け穴工事

グリルを取り付ける天井材にΦ120 mmの穴を開ける。

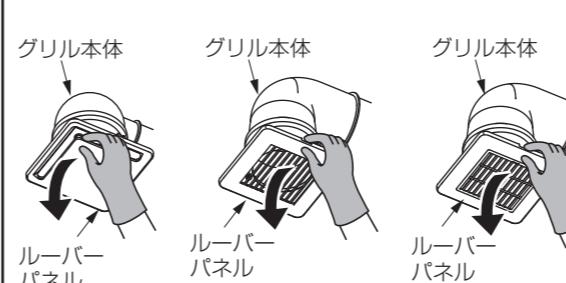
■取り付け穴は指定寸法であけてください。  
グリルが取り付けられない場合があります。

■穴あけは野縁など木枠から50 mm以上離しておこなってください。



## 取り付け前の準備

ルーバーパネルを手前に引いてはすす。



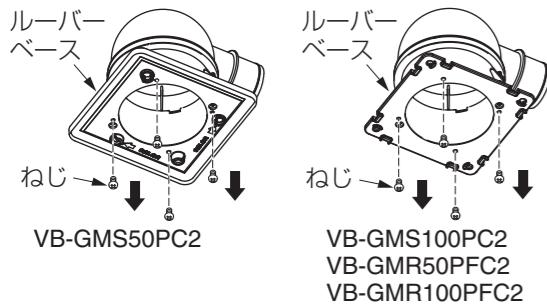
VB-GMS50PC2 VB-GMS100PC2 VB-GMR50PFC2  
VB-GMR100PFC2

VB-GMR50PFC2  
VB-GMR100PFC2

## 給排気グリルの取り付け（続き）

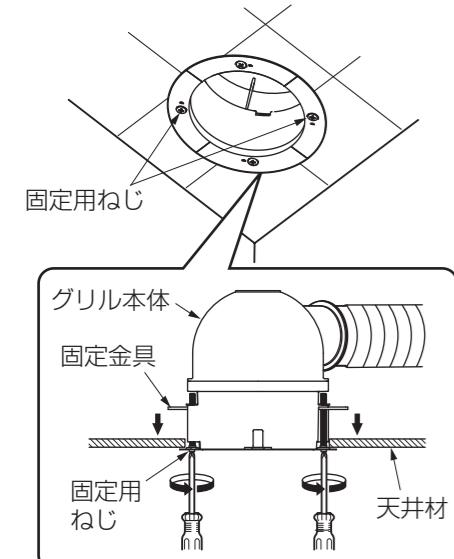
天井クロス仕上げをする前に、グリル本体を取り付ける場合

- ①ねじをはずしてルーバーベースをはずす。  
■はずしたねじは、なくさないようにしてください。

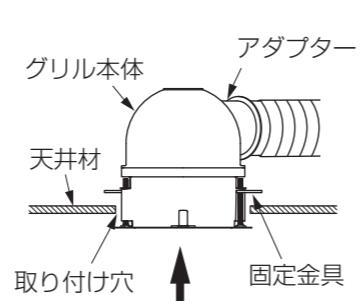


- ③固定用ねじを締めて、グリル本体を天井材に固定する。

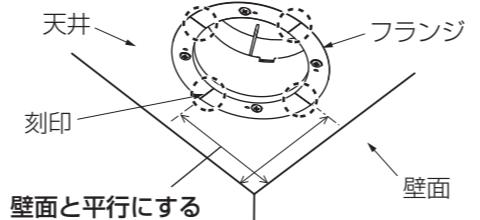
■グリル本体が天井面との浮き・すき間のないように確実に入っているか確認してください。



- ②固定金具を仮止めしているテープをはずし、グリル本体を天井に取り付ける。

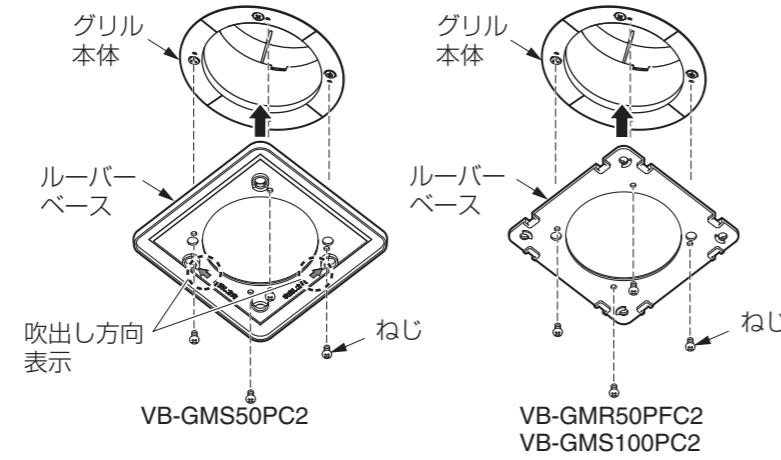


■フランジ部分の刻印を壁面などと平行に合わせてください。  
ルーバーパネルが壁面などに平行となります。



- ④天井クロスを貼り付けたあと、ルーバーベースを取り付ける。

■ルーバーベースは吹出し方向を確認してください。  
(VB-GMS50PC2)



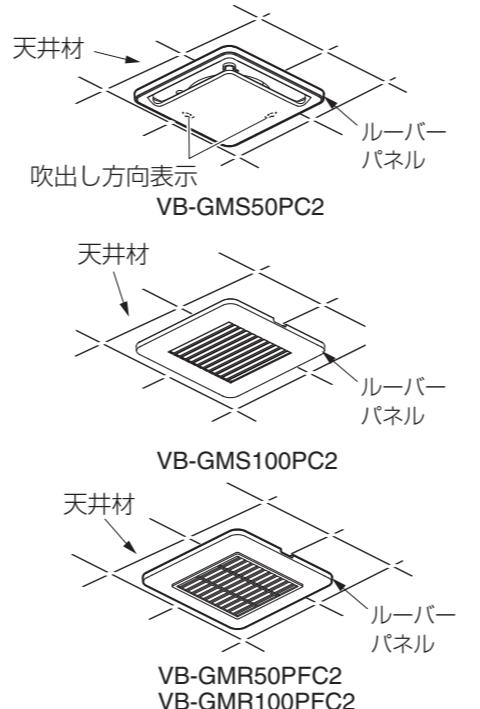
- 電動ドライバーご使用時でも最後の締め付けは、手回しドライバーを使用してください。

天井材および製品の変形または破損の原因になります。

- ⑤ルーバーパネルを取り付ける。

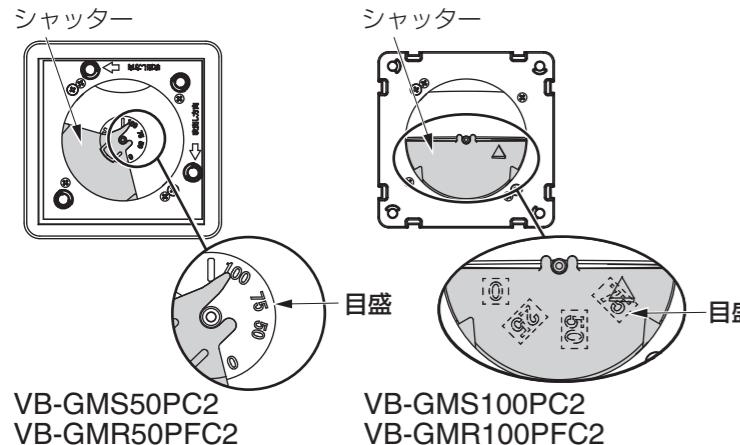
■VB-GMS50PC2はルーバーパネルの吹出し方向を確認してください。

■VB-GMS100PC2はルーバーパネルを90度回転させることにより、4方向に風向調節が可能です。



## 風量調節のしかた

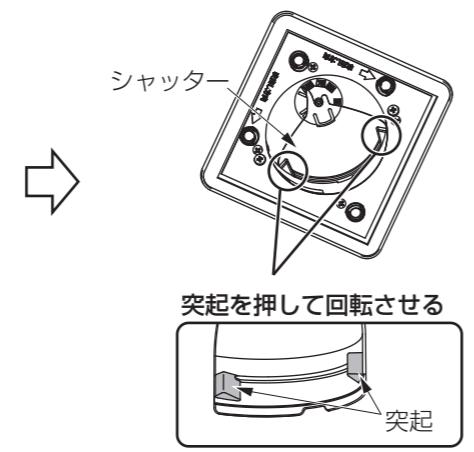
シャッターを回転させることで風量調節が可能です。



- 内側に開口率を示す目盛があります。  
(全開を100としています) 風量調節の際は、目盛を参考にしてください。

(工場出荷時は全開です)  
目盛のある位置ではクリック感がありますので、クリック感のある位置で止めてください。

- グリルからの風量により全閉(「0」の位置)に近い位置では、風切り音が発生する場合がありますので、音が発生しない位置までシャッターを開けてください。

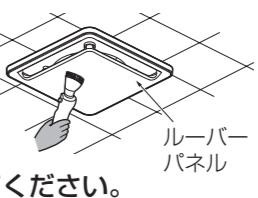


## お手入れのしかた

汚れたたよてお手入れの頻度を変えてください。

1か月に1回程度

ルーバーパネル表面をからぶき、または掃除機でホコリを吸い取ってください。

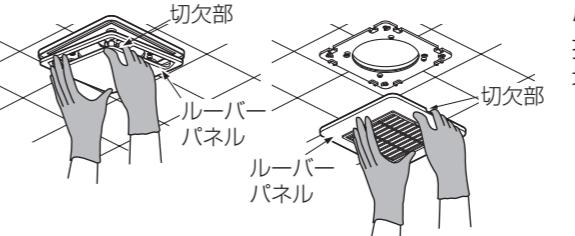


3か月に1回程度

下記の手順に従って、内部のお手入れをしてください。

### ■ルーバーベースを取りはずす

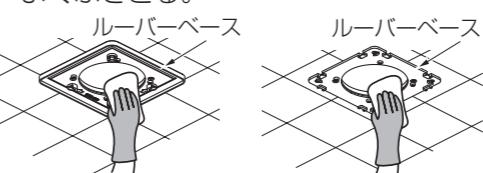
ルーバーベースの切欠部に指をかけて下へ引きさげてはずす。



(上図のように、ルーバーベースを手で押さえながら引きさげるとはずしやすくなります。)

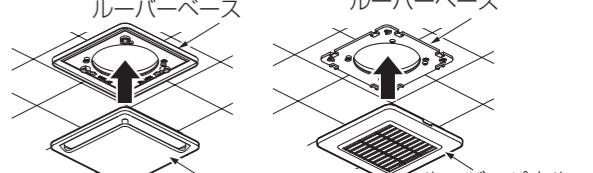
### ■ルーバーベースのお手入れ

台所用中性洗剤を浸した布でホコリをふきとったあと、からぶきして水けをよくふきとる。



### ■ルーバーパネルの取り付け

ルーバーパネルをルーバーベースに取り付ける。



### VB-GMR50PFC2(Φ50用)、VB-GMR100PFC2(Φ100用)のみ

#### ■メッシュフィルターの交換方法

①ルーバーパネルに引っ掛かっているフィルター枠のツメ(2か所)を矢印の方向に押し、フィルター枠の片側をはずす。

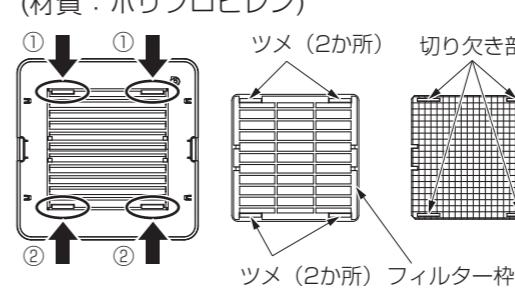
②もう片側のツメ(2か所)を矢印の方向に押し、フィルター枠をはずす。

③フィルター枠に取り付けてあるメッシュフィルターを取りはずす。

④交換するメッシュフィルターの切り欠き部をフィルター枠のツメにはめる。(4か所)

(フィルター品番: VB-YD100(別売品))  
フィルターはお買い上げの販売店または工事店でお買い求めください。

フィルターを廃棄する場合は、お住まいの市町村窓口に処理方法をご確認のうえ処理してください。  
(材質: ポリプロピレン)



■ルーバーパネルへのフィルター枠の取り付け

①ルーバーパネルの片側の端の格子にフィルター枠のツメ(2か所)を引っ掛けます。

②ルーバーパネルのもう片側の端の格子にフィルター枠をたわませながらフィルター枠のツメ(2か所)を引っ掛けます。

